

マツ類

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													肥
													殖
													定
													病虫害防除

みどり摘み (5月～6月)

古葉落とし (10月)

管 理 ポ イ ン ト

- みどり摘みは、樹勢の弱いものを早めに、強いものは遅めに行う。
- マツノザイセンチュウは、グリーンガード注入剤・センチュリー注入剤・ショットワン2注入剤を2月、胸高直径に応じて注入する。

主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴

病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
マツカレハ (マツケムシ)	※ トレボン乳剤 4,000倍 レルダン乳剤 2,000倍	4～5月	橙黄色と灰色の毛がある毛虫
マツノマダラカミキリ (マツクイムシ)	スミパイン乳剤 200倍 エコワン3フロアブル 100～200倍	5～6月	背面に黒い小斑点のあるカミキリムシ
マツコナカイガラ	カルホス乳剤 1,000倍	5～7月	小さな白色の虫で葉の付け根に寄生
葉ふるい病	キノドー水和剤40 500倍	5～10月	葉身が灰褐色～灰白色になり枯死する。

その他

マツ類は湿地を嫌う。浅植えにする。(高植え)
マツノマダラカミキリには、5月中旬・6月中旬・7月上旬の3回散布
マツクイムシの被害木は伐倒焼却

注意事項

○ すず病について

すす病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すす病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。

○ その他

- 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
- 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
- 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

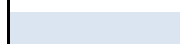

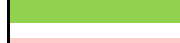

マキ類

作 業 内 容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													施 肥
													移 殖
													剪 定
													病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 刈り込みに強いので随時剪定を行う。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
ハマキガ類(チャハマキ)	—	春～秋	茶色っぽい小型のガ
ギオピエダシヤク	スプラサイド乳剤40 1,500倍	1年中	翅には黒地に黄色の鮮やかな帯
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	6～8月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
アブラムシ類	※スミチオン乳剤 1,000倍 モスピラン液剤 500倍	6～8月	一般的には、黒色の小さな虫が多い。
すす病	—	1～12月	葉や枝が黒くススが付いたようになる。
その他 イヌマキは移植が容易である。(秋冬は移植不可)。秋口の深刈り込みは不可 チャハマキは、冬でも気温が高いと食害 すず病については下記の注意事項を参照			
注意事項 <input type="radio"/> すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すす病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
<input type="radio"/> その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

カイズカイブキ





作 業 内 容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 強く刈り込むとスギ葉が発生しやすいので剪定は弱めに、ひんぱんに行う。 肥料ぎれに注意する。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
イブキチビキバガ	—	4～5月	白色の小さなが
ダニ類	※バロックフロアブル 2,000倍	5～6月	体色は、赤橙色や黄白色で体長は1mm以下
さび病	石灰硫黄合剤 40倍 バシタック水和剤75 500～1,000倍	冬孢子堆膨潤前	橙黄色の寒天状のふくらみができる。
その他			
カイズカイブキは赤星病の中間宿主なので、ナシ、ボケ、カイドウの近くに植えない。			
注意事項			
○ すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
○ その他			
1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。			
2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。			
3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

カシ類

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト

- ・ 萌芽力が強いので大きくなりすぎたら枝ごと切り詰める。

主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴

病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
カミキリムシ類	※スミパイン乳剤 100倍	7～9月	
アブラムシ類	※スミチオン乳剤 1,000倍 マツグリーン液剤2 500倍	4～7月	一般的に黒色の小さな虫が多い。
うどんこ病	※トリフミン水和剤 3,000倍 ※マネージ乳剤 1,000倍	5～7月と 9～10月	白色粉状のカビが葉面を覆う
紫かび病	※モレスタン水和剤 2,000倍 フルピカフロアブル 2,000倍		紫褐色粉状のカビが葉面をおおう

その他

カミキリムシ防除薬剤は樹幹散布。枝枯れ細菌病(5～10月)の発生に注意。発生したら下記の薬剤のいずれかを散布。
ペンコゼブ水和剤 600倍、バクテサイド 1,000倍、マイコシールド 1,000倍

注意事項

○ すず病について





すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。

○ その他

- 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
- 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
- 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

ベニカナメモチ・レッドロビン

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト

- ・ 樹形の乱れに注意する。
- ・ 水はけが良いこと。

主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴

病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
ルリカミキリ	※スピパイン乳剤 100倍	5～6月	体長1cmで黄橙色のカミキリムシ
ごま色斑点病	※ベンレート水和剤 2,000倍	4～9月	葉に紅色の小斑点が多数発生する。 茶色から黒褐色の斑紋が発生する。
うどんこ病	※マネージ乳剤 1,000倍 ※トリフミン水和剤 3,000倍 ※モレスタン水和剤 2,000倍	5～7月と 9～10月	白色粉状のカビが葉面をおおう。

その他





カミキリムシ防除薬剤は樹幹散布。
根頭がんしゅ病に注意。発生したら掘り取り処分。

注意事項

- すず病について
すず病の発生により、葉や枝の表面にすずが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。
- その他
 - 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
 - 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
 - 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

クチナシ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト

- ・ 剪定は花の直後に行う。

主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴

病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
オオスカシバ	オルトラン液剤 250～500倍	5～9月	淡緑色のイモムシ(幼虫)、年3回発生。
アザミウマ類	アディオソ乳剤 2,000倍	春～秋	種によっては年に10回以上発生する。
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	5～7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
灰色かび病	※フルピカフロアブル 2,000倍	5～7月と 9～10月	初め水滴がにじんだようになり、後に急速に拡大し、腐敗する。

その他

クチナシの花芽分化期は8～9月で、移植は容易である。

注意事項

○ すず病について





すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。

○ その他

- 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
- 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
- 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

イヌツゲ ツゲ

作 業 内 容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト

- ・ 小葉を美しく整えるため刈り込みの回数を多くする。
- ・ 9月下旬以降の刈り込みは、新葉が寒害を受けることがあるので注意する。

主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴

病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
ツゲノメイガ	————	5～9月	黄色地に黒の縦線のケムシ(幼虫)
クロネハイイロハマキ	————	4～5月	小さなイモムシ(幼虫)
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍 カダンK(エアゾール剤) 噴射	6～8月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生

その他

イヌツゲとツゲは科が異なるが、育て方はほとんど変わらない。
ツゲノメイガはクサツゲ、ホンツゲのみ。
クロネハイイロハマキはイヌツゲのみ

注意事項

○ すず病について





すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。

○ その他

- 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
- 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
- 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

クログネモチ

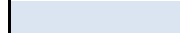



作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 日光の良くあたるところで、やや埴質で保水力のある土壤に植える。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
ハマキムシ類	—	4～10月	綴られた葉の中にいる虫
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	5～7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
斑点病	※ペンコゼブ水和剤 600倍	6～10月	暗褐色5mm大の角斑を生じる。
すす病	—	1～12月	葉や枝が黒くススがついたようになる。
その他 大径木が枯れる事例があり、注意。樹勢を強くする。 すず病については下記の注意事項を参照			
注意事項 <input checked="" type="radio"/> すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すす病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
<input checked="" type="radio"/> その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

モクセイ ヒイラギ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト

- ・花を楽しむ場合は、剪定は6月下旬までとする。
- ・秋の整形は浅く切る。

主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴

病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	5~7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
ハダニ類	※バロックフロアブル 2,000倍	5~6月	体色は赤橙色、黄白色で体長は1mm以下
テントウムシハムシ	_____	5~10月	幼虫は葉肉内にもぐって食害、成虫は葉を食害
さび病	_____	6~9月	橙黄色の寒天状のふくらみができる
先葉枯病・炭疽病	※トップジンM水和剤 2,000倍 ※ベンコゼブ水和剤 600倍	1~12月	葉先が黄緑色から淡褐色に脱色。

その他

ヒイラギのダニ類はバロックフロアブルの2,000倍。
樹勢が弱ると先葉枯病、炭疽病が発生するので、施肥、敷きわら等で樹勢の回復に努める。花芽分化期は8~9月。
先葉枯病は登録農薬なし。

注意事項

○ すず病について





すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。

○ その他

- 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
- 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
- 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

マサキ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト

- ・ 害虫の発生に注意する。
- ・ 生長がはやいので、枝葉の切り詰めを行う。

主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴

病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
ミノスバ	オルトラン液剤 500倍 ディプレックス乳剤 1,000倍	4～5月	淡黄色地に黒い縦線条斑のケムシ(幼虫)
ユウマダラエダシャク	ディプレックス乳剤 1,000倍	4～5月と 9～10月	黒色のシャクトリムシ
カイガラムシ類	アクテリック乳剤 1,000倍	5～7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
うどんこ病	※トリフミン水和剤 3,000倍 ポリベリン水和剤 1,000～2,000倍	4～5月と 9～10月	白色粉状のカビが葉面をおおう。

その他

注意事項

○ すず病について

すず病の発生により、葉や枝の表面にすずが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。

○ その他

- 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
- 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
- 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

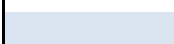



サンゴジュ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													施 肥
													移 殖
													剪 定
													病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
・ 芯枯れ(モンクキバチ)に注意する。			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
モンクキバチ	—	5～6月	乳白色の幼虫が枝内に寄生する。
サンゴジュハムシ	オルトラン液剤 500倍	4～7月	黄色地にゴマ状斑点の幼虫か黒色の甲虫
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	5～6月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
すす病	—	1～12月	葉や枝が黒くスがついたようになる。
その他			
すす病については下記の注意事項を参照			
注意事項			
○ すず病について すす病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すす病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
○ その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

ヤマモモ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト

- ・ 剪定は伸びすぎた枝を切る程度とする。

主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴

病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
ヤマモモハマキ	_____	4～5月と 9～10月	綴られた葉の中にすむ幼虫
ミノガ類	※ディプレックス乳剤 1,000倍	6～8月	叢を被った虫
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	5～7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
こぶ病	_____		幹、枝、葉柄に大小さまざまなこぶが出来る。

その他

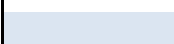



果樹類のハマキムシ類にトアロー水和剤CT1,000倍
こぶ病はコブを除去。

注意事項

- すず病について
すず病の発生により、葉や枝の表面にすずが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。
- その他
 - 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
 - 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
 - 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

モッコク





作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 刈り込みに弱く、小枝が密生するので剪定は枝抜き程度とする。 モッコクハマキに注意する。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
モッコクハマキ	カルホス乳剤 1,000倍	4～10月	綴られた葉の中にすむ幼虫
カイガラムシ類	カダンK(エアゾール剤) 噴射 カルホス乳剤 1,000倍	5～7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
その他			
注意事項			
<p>○ すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。</p> <p>○ その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。 			

ツバキ サザンカ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト

- ・ 花芽の分化(8月)後は、強い剪定をしないこと。
- ・ チャドクガの被害に注意する。

主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴

病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
チャドクガ	オルトラン水和剤 1,500倍 ※トレボン乳剤 4,000倍	5～9月	葉の裏面につく小さな黄色のケムシ(幼虫)
カイガラムシ類	アクテリック乳剤 1,000倍 ※スプラサイド乳剤40 1,500倍	5～7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
炭疽病	※トップジンM水和剤 2,000倍 ※ベンコゼブ水和剤 600倍	6～9月	灰白色の病斑が現れ、中心部に黒い粒つぶが出来る。
輪紋葉枯病	※ベンレート水和剤 2,000倍		葉に赤褐色の小斑、後に1～2cm大の病斑
もち病		5～6月	若い葉が火ぶくれ状に肉厚・球状になる。

その他

生垣のサザンカは、6月と10月頃の2回刈り込みを行う。
花芽分化期は6～7月。
もち病は病葉が自粉をつける前に摘み取る。

注意事項

○ すず病について

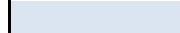



すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。

○ その他

- 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
- 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
- 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病害虫、樹木と病害虫の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

ツツジ サツキ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト

- ・ 花後、すぐに剪定又は花がらを摘み取る。
- ・ 乾燥、過湿に弱いので、排水良好な有機質に富む土地に植える。

主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴

病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
ゲンバウムシ類	※スミチオン乳剤 1,000倍	5~9月	体長約3mmの虫で羽根が透明である。
ハダニ類	※バロックフロアブル 2,000倍	4~5月と 9~10月	体色は赤橙色や黄白色で体長は1mm以下。
もち病	バシタック水和剤75 1,000倍 Zポルドー 500倍	5~6月	若い葉が火ぶくれ状に肉厚・球状になる。
葉斑病	※ベンコゼブ水和剤 600倍	5~6月	葉脈に区切られた暗褐色不整斑を形成
褐斑病	スミトップM粉剤 4Kg/10a	1~12月	茶色から黒褐色の斑紋が発生する。

その他

花芽分化期は6~7月。
もち病は病葉が自粉をつける前に摘み取る。

注意事項

○ すず病について

すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。

○ その他

- 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
- 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
- 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病害虫、樹木と病害虫の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

サクラ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													肥
													殖
													定
													病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 剪定は、原則として行わない。 ・ てんぐす病とヒコバエを切り取る。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
コスカンバ	スピパイン乳剤 100~300倍	6~9月	樹皮下に住み、体長約3cmで乳白色(幼虫)。
ケムシ類	デミリン水和剤 4,000~6,000倍		
モンクロシャチホコ	オルトラン水和剤 1,000倍	7~10月	体色は黒、体毛は白い長毛を束生するケムシ(幼虫)
アメリカシロヒトリ	オルトラン水和剤 2,000倍	5~8月	樹上の枝先に白いケムシが群がって生息(幼虫)
てんぐ巣病	※トップジンMペースト塗布剤	4月	こぶ状となった枝の一部から無数の小枝が出る。
幼果菌核病	サンリット水和剤 2,000倍 トップジンM水和剤 1,500~2,000倍	4~5月	新梢が霜害を受けたように褐変枯死。
その他 成虫発生期散布。樹皮下の幼虫を駆除 1~2月にてんぐ巣病枝のつけ根から切除し、切り口に癒合剤を塗る。			
注意事項 <input type="radio"/> すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すす病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
<input type="radio"/> その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

ウメ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													肥
													殖
													定
													病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 徒長枝は年内に切り取り、花が終わって仕上げの剪定をする。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
アブラムシ類	マラソン乳剤 2,500倍 ※スミチオン乳剤 1,000倍	4～7月	一般的には、黒色の小さな虫が多い。
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	5～7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
黒星病	スコア水和剤10 1,000倍 トリフミン水和剤 2,000倍	4～5月	葉、葉柄、果実に黒い斑点がつく。
こうやく病	—	11～12月	枝幹にべったりと白いカビが発生する。
その他 花芽分化期6月。 こうやく病は患部をうすく削り取る			
注意事項 <input type="radio"/> すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
<input type="radio"/> その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

カエデ類

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													肥
													殖
													定
													病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 夏の水不足、日焼けに注意する。 カミキリムシ類の加害に注意。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
アブラムシ類	※スミチオン乳剤 1,000倍	4～7月	一般的には、黒色の小さな虫が多い。
ゴマダラカミキリ	バイオリサ・カミキリ 1本/1樹 園芸用キンチョールE 食入部噴射	7～8月	黒色に白い斑点があるカミキリムシ。
胴枯病	＝	4～5月	暗褐色水浸状の病斑が樹皮面に出来る。
すす病	＝	1～12月	葉や枝が黒くススがついたようになる。
その他 秋に昼夜の温度差が大きい年は紅葉が美しい。 胴枯病は、被害枝を切除、焼却。 すず病については下記の注意事項を参照			
注意事項 <input type="radio"/> すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すす病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
<input type="radio"/> その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

サルスベリ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													施 肥
													移 殖
													剪 定
													病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 一般的に太い枝を短く切り詰め、細くて短い枝、ヒコバエは、つけ根から切り取る。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
サルスベリフクロカイガラムシ	ベニカX乳剤 500倍 オルトランCスプレー	5月上旬	白色綿状で、米粒のようである。
カイガラムシ類 トビロマルカイガラムシ	サンヨール液剤AL 原液 ※スプラサイド乳剤40 1,000~1,500倍	6~8月 年2回	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
アブラムシ類	サンヨール液剤AL 原液 ベニカX乳剤 500倍	4~7月	一般的には、黒色の小さな虫が多い。
うどんこ病	※ポリベリン 1,000~2,000倍 ベニカX乳剤 500倍	9~10月	白粉状のカビが葉面をおおう。
すす病	—	1~12月	葉や枝が黒くすすがついたようになる。
その他			
当年生の枝に花をつける。 カイガラムシ、アブラムシに特に注意する。 すず病については下記の注意事項を参照			
注意事項			
<input type="radio"/> すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
<input type="radio"/> その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

ウメモドキ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													施 肥
													移 殖
													剪 定
													病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
・ 樹形はあまり乱れないので剪定はひかえめでよい。			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	5~7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
斑点病	※ペンコセブ水和剤 600倍	新葉展開期~9月	葉に褐色5mm大の不整角斑を多数形成
とうそう病	—	4~9月	新葉展開直後から小黑斑が多数生じ、やがて中央部は灰白色となる。
その他			
注意事項			
○ すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
○ その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

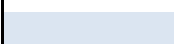

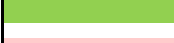

ハナミズキ ヤマボウシ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													施 肥
													移 殖
													剪 定
													病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 花後の剪定。 施肥はチツソ過多にならないように注意する。 冬の剪定は、花芽を切らないように注意する。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	5~7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
アメリカシロヒトリ	※トレボン乳剤 4,000倍	5~8月	樹上の枝先に白いケムシが群がって生息(幼虫)
うどんこ病	※マネージ乳剤 1,000倍 ※モレスタン水和剤 2,000倍 ※トリフミン水和剤 3,000倍	5~7月と 9~10月	白粉状のカビが葉面をおおう。
その他			
乾燥地で肥沃な土を好む。湿気に弱いので過湿に注意。 花芽分化期7月頃。うどんこ病に注意。			
注意事項			
○ すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
○ その他			
1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。			
2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。			
3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

ロウバイ





作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 花後の剪定。ヒコバエは切っておく。 施肥はチツソ過多にならないように注意する。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
アブラムシ類	※スミチオン乳剤 1,000倍 ※マツグリーン液剤2 500倍	4～7月	一般的には、黒色の小さな虫が多い。
すす病	—————	1～12月	葉や枝が黒くススがついたようになる。
その他 花芽分化期6月頃。 すず病については下記の注意事項を参照			
注意事項 <input type="radio"/> すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すす病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
<input type="radio"/> その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

アジサイ

作業内容												凡例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡例	
	施肥
	移植
	剪定
	病虫害防除

管理ポイント

- ・ 深切剪定に注意する。
- ・ 冬の剪定は、浅く行わないと花芽を落とす。

主な病虫害とその薬剤、被害発生時期、病虫害の特徴

病虫害名	薬剤名	時期	病虫害の特徴
アブラムシ類	※スミチオン乳剤 1,000倍 ※マツグリーン液剤2 500倍	4～7月	一般的には、黒色の小さな虫が多い。
炭疽病	※ペンコゼブ水和剤 600倍 ※トップジンM水和剤 1,000倍	4～9月	葉に赤紫褐色の斑点ができる。
うどんこ病	※トリフミン水和剤 3,000倍 ※マネージ乳剤 1,000倍	5～7月と 9～10月	白粉状のカビが葉面をおおう。

その他

花芽分化期9月頃。

注意事項

○ すず病について

すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。

○ その他

- 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
- 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
- 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

ジンチョウゲ

作 業 内 容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													施 肥
													移 殖
													剪 定
													病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
・ 花後の剪定。			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
アブラムシ類	※スミチオン乳剤 1,000倍	4～7月	一般的には、黒色の小さな虫が多い。
ハマキムシ類	テナポン水和剤50 1,000～1,500倍	4～10月	綴られた葉の中に住む虫。
黒点病	ストロビードライフロアブル 3,000倍 マネージ乳剤 1,000倍	新葉展開後	葉、葉柄、緑色茎枝に小黑点を多数形成。
白紋羽病	—	2～3月	葉が小さく、色も黄化し、やがて枯死する。
その他			
根腐れに注意する。半日陰を好む。移植を嫌う。 白紋羽病の罹病樹は掘り上げ、焼却。 花芽分化期7～8月頃。			
注意事項			
○ すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
○ その他			
1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

フジ

作業内容											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

凡	例
	施肥
	移植
	剪定
	病虫害防除

管理ポイント

- ・ チッソ過多に注意する。
- ・ 蔓ばかり延びて花つきが悪い時には、チッソ分の少ない化成肥料を施す。
- ・ 剪定は5～10芽ほど残して切る。

主な病虫害とその薬剤、被害発生時期、病虫害の特徴

病虫害名	薬剤名	時期	病虫害の特徴
マイマイガ	※トレボン乳剤 4,000倍	4～6月	体長約6cmの大型のケムシ。
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	6～9月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
フジシロナガカイガラムシ		年2回	
こぶ病	=====	6月～	梅雨頃から、ツルや枝に淡褐色のこぶができる。
根頭がんしゅ病	=====	2～3月	地際部、根などにこぶができる。

その他

老木の強い剪定は避ける。
花芽分化期7～8月頃。
こぶ病はコブのある枝を切除。根頭がんしゅ病は罹病樹は掘り上げ焼却。

注意事項

○ すず病について





すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。

○ その他

- 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。
- 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。
- 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。

モクレン コブシ





作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
・ 花後の剪定。			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
ゲンバウムシ類	※スミチオン乳剤 1,000倍	5~9月	体長3mmの虫で羽が透明である。
うどんこ病	※マネーヅ乳剤 1,000倍 ※モレスタン水和剤 2,000倍 ※トリフミン水和剤 3,000倍	5~7月と 9~10月	白粉状のカビが葉面をおおう。
その他			
花芽分化期7~8月頃。			
注意事項			
○ すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すず病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
○ その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

ピラカンサ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		

凡 例	
	施 肥
	移 殖
	剪 定
	病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 日当たり、排水を良くする。 冬の剪定は徒長枝を切り取る程度に行う。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
アブラムシ類	※スミチオン乳剤 1,000倍	4～7月	一般的に黒色の小さな虫が多い。
ハマキムシ類	デナボン水和剤50 1,000～1,500倍	4～10月	綴られた葉の中に住む虫。
褐斑病	※ペンコゼブ水和剤 600倍	6～10月	葉に褐色～暗褐色の不整角斑を形成。
すす病	—	1～12月	葉や枝が黒くススがついたようになる。
その他 実の時期11～1月頃 通風を良くする。萌芽力が強い。 すず病については下記の注意事項を参照			
注意事項 <input type="radio"/> すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すす病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
<input type="radio"/> その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			

タケ ササ

作業内容												凡 例	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
													施 肥
													移 殖
													剪 定
													病虫害防除

管 理 ポ イ ン ト			
<ul style="list-style-type: none"> 完熟した有機質肥料を十分に施す。 カンチク、シホウチク等、秋にタケノコが出るものは、5～6月に移植する。 			
主 な 病 害 虫 と そ の 薬 剤、 被 害 発 生 時 期、 病 害 虫 の 特 徴			
病 害 虫 名	薬 剤 名	時 期	病 害 虫 の 特 徴
タケノメイガ	_____	5～7月	体長2cmほどの小さいガ
カイガラムシ類	※スプラサイド乳剤40 1,500倍	5～7月	貝殻状、白色、ろう質状で枝などに寄生
葉さび病	_____	4～6月	葉裏に黄色粉状の隆起物を形成
すす病	_____	1～12月	葉や枝が黒くスがついたようになる。
その他 タケ、ササ類は種類によって移植、肥培管理、剪定の適期がちがうので注意する。 すず病については下記の注意事項を参照			
注意事項 <input type="radio"/> すず病について すず病の発生により、葉や枝の表面にすすが付いたように黒く汚れ、庭木の観賞価値を下げます。すす病は、アブラムシ、カイガラムシ類の排泄物がたまったところに発生するので、これらの害虫を駆除することにより発生を防ぐことができます。			
<input type="radio"/> その他 1 薬剤名で※印は、対象作物が木本植物樹木類として登録されている薬剤です。 2 薬剤名に記載がないものは、農薬取締法に基づく登録農薬がありませんので、農薬販売店にご相談ください。 3 この表の薬剤については、簡略化してあるので、薬剤の使用濃度および処理量、処理時期、正式な対象病虫害、樹木と病虫害の組み合わせ、使用上の注意等については薬剤のラベルに従ってください。			